

Agilentマイクロアレイ 遺伝子発現解析

Agilent発現解析アレイの特長

- 1アレイあたり最少 10 ng の total RNA で実験可能
- 5桁に渡る幅広いダイナミックレンジで低発現～高発現の遺伝子を一度に検出
- 再現性がよく、リアルタイムPCRの結果とも高い相関
- Human、Mouse アレイはlncRNA のプローブも搭載

ヒトの場合	参照データベース	搭載コンテンツ
SurePrint G3 Human GE マイクロアレイ 8x60K Ver. 3.0	<ul style="list-style-type: none">• RefSeq Build66• Unigene Build 236• LNCipedia Version 2.1• Broad Institute Human lincRNA catalog (Nov 2011)• Broad Institute TUCP transcripts catalog (Nov 2011)• Ensembl Release 76• GeneBank (Aug 2014)	26,083 Entrez Genes 30,606 lncRNAs

解析例

使用アレイ : SurePrint G3 Human GE マイクロアレイ 8x60K Ver. 3.0
使用キット : Low Input Quick Amp Labeling Kit, 1 color
サンプル数 : 8 サンプル
納期 : 品質チェック通過後 約3週間

1サンプル **7** 万円 (税別)

- 正規化データ一覧 (各種アノテーション付き) をご報告します
- ヒト以外の生物種、8x60K以外のフォーマットにも対応

詳細は次のページをご覧ください

アジレント・テクノロジー社製遺伝子発現解析用マイクロアレイ

2019年度解析実績 **3000件以上**



キュービクスはアジレント・テクノロジー社が認定した
マイクロアレイ遺伝子発現解析サービスプロバイダーです

<https://www.kubix.co.jp/>

KUBIX 株式会社キュービクス

電話 076-201-8821

RNA-Seqを試してみたけれど、 知りたかった遺伝子の多くがリード不足。。。。

そんな経験ありませんか？

	Agilentマイクロアレイ	RNA-Seq 発現解析
ターゲット遺伝子	既知のみ	パネルと読み取り深度次第
インプットRNA	> 10 ng total RNA (Low Input Quick Amp Labeling Kit)	> 100 ng total RNA (TruSeq® RNA Sample Prep kit)
ダイナミックレンジ	5桁	読み取り深度次第
得られる情報	発現量のみ	発現量、スプライシングバリエーション、 融合遺伝子、未知転写産物 他
分析の難易度	低い	高い

RNA-Seqのコストは下がってきていますが、既知の幅広いターゲットに対して発現情報を低コストで得るにはダイナミックレンジの広いAgilentマイクロアレイが有利です。Agilentマイクロアレイと同程度の遺伝子を検出するためには最低でも1サンプルあたり1億リード必要と言われています（コスト高）。

RNA-Seqでしか得られない情報も多いので、研究目的に応じて適切な解析手法を選択する必要があります。

キャンペーン内容 (2020年7月～10月末)

納品内容 下記データを記録したDVDをお届けします

- ・ スキャン画像 (.tif)
- ・ 生データ (.txt)
- ・ RNA品質チェック結果 (.pdf)
- ・ 正規化前データ一覧 (.xlsx)
- ・ 正規化後データ一覧 (.xlsx)

データ一覧には次のアノテーションが付きまます

GeneName, GeneSymbol, EnsemblID, EntrezID,
RefseqAccession, GenbankAccession,
GenomicCoordinates, GOterm, TIGRID, UniGeneID

<オプション>

- ◇ 血液、組織などからのRNA抽出も承ります
- ◇ クラスタリング、GSEAなど追加のデータ解析も承ります

まずはお問い合わせください

解析の流れ

